
感謝のもたらす癒しの力

ラッセル・M・ネルソン大管長
末日聖徒イエス・キリスト教会大管長

わたしは医者として、治療の効果を知っています。大切な皆さんに処方箋を出してもよいですか？感謝がもたらす癒しの力を経験するうえで助けとなるものです。

これまで96年の人生で、大恐慌や世界大戦、テロ行為に飢餓、貧困を世界中で目にしてきました。これまで目の当たりにした、宇宙旅行の到来やインターネット、数々の医学的進歩から、驚きと喜びを得てきました。

わたしはかつて、心臓血管・胸部外科医として、多くの時間を手術室で過ごしました。外科研修医のときには、研究チームの一員として、心臓手術に使われる人工心肺第1号の開発に携わりました。¹その後、何百という患者の命を救う特権にあずかりました。悲しいことに、最善を尽くしても、この世を去った患者たちもいました。

科学者でありイエス・キリストに信仰心を抱くわたしは、世界的パンデミックに大きな関心を寄せています。科学者として、感染拡大を防ぐことは急務だと理解しています。医療関係者の献身的な働きに敬意を表すとともに、生活が一変した人々のために心を痛めています。

一方、信仰者としてはこのパンデミックを、世界を悩ます多くの病の一つとも捉えています。憎悪や市民による暴動、人種差別に暴力、不正、礼節の欠如などが挙げられます。

熟練した科学者や研究者が、コロナウイルスに対するワクチンの開発と提供に熱心に取り組んでいますが、直面している魂の苦悩や病を治すことのできる薬や手術はどこにも存在しません。

ところが治療法はあります。通常の発想に逆らうものなので驚かれるかもしれませんが、科学者のみならず信仰ある男女がその効果を認めています。

それは、感謝のもたらす癒しの力です。

聖書は繰り返し感謝を表すよう教えていますが、3つだけご紹介します。

「主に感謝するのは、よいことです。」²

「主に感謝せよ、主は恵み深い。」³

「感謝をもって、主の前に行かん。」⁴

イエス・キリストは度々感謝を示されました。死人を蘇らせる前、奇跡的にパンと魚を増やす前、最後の晩餐で弟子たちに聖餐を配る前、救い主は祈り、神に感謝を伝えました。使徒パウロの言葉も驚くに値しません。「すべての事について感謝しなさい。」⁵

95年を超える人生を経て、わたしは、問題を列挙するよりも祝福を数える方がはるかに良いという結論に達しました。状況に関係なく、受けている恩恵に感謝することは、魂に即効性と持続性のある処方箋です。

悲しみやつらさから免れるわけではありませんが、気持ちが和らぎます。人生の目的と喜びによりよく目を向けられます。

16年ほど前、妻のダンツェルと手を握り合ってソファでテレビを見ていると、突然、彼女が倒れました。その手の救命処置については十分訓練を受けていたのに妻を救えませんでした。

わたしたちは9人の娘と1人の息子に恵まれましたが、悲しいことに、2人の娘を癌で失いました。子を失う覚悟がある親などいません。

ほかにもつらい経験をしてきましたが、わたしは、非常に多くのことを、深く永遠に感謝しています。

ダンツェルと過ごした60年近く、愛と喜びと思い出に満ちた生涯を神に感謝しています。ダンツェルの死後、妻ウエンディーに出会えたことを感謝しています。彼女は人生を喜びで満たしてくれます。

旅立った2人の娘と過ごした歳月を神に感謝しています。彼女たちの面影を持つ子や孫たちの顔を見るときに心が和らぎます。

わたしたちは地球の美しさや、永遠を思わせる天の荘厳さに感謝することができます。

命という贈り物、成長と学びを可能にする驚くべき肉体と心に感謝をささげられます。

魂を育む芸術, 文学, 音楽に感謝できます。

変化して成長する機会に感謝できます。やり直し, 正し, 人格を築くのです。

家族や友人, 愛する人々に感謝できます。

助け合い, 仕え合う機会に感謝できます。生きがいを与えてくれるものです。

試練にさえ感謝できます。ほかの方法では学び得ないことを学ぶのです。

何よりも, 万物の父である神に感謝できます。わたしたちは皆, 兄弟姉妹であり, 世界に広がる一つの家族なのです。

わたしは医者として, 治療の効果を知っています。大切な皆さんに処方箋を出してもよいですか?感謝がもたらす癒しの力を経験するうえで助けとなるものです。

第1に, これから7日間, ソーシャルメディアに個人的な感謝の日記をつけることです。何を感謝し, だれに感謝し, なぜ感謝しているのか, 毎日投稿してください。7日たったなら, さらなる幸せと安らぎを感じるか確かめてみましょう。ハッシュタグ#感謝のキモチ (#GiveThanks) を添えてください。一丸となれば, ソーシャルメディアは感謝の波で満たされ, 地の果てまで届くでしょう。神が預言者に約束されたこと, 「地のすべての家族は」その子孫によって「祝福される」という言葉の一部が実現するのです。⁶

第2に, 日々の祈りで一つとなり, 神に感謝しましょう。イエス・キリストは弟子たちに向けて, 祈る際にはまず神に感謝し, 次に願いを述べるよう教えました。祈りは奇跡をもたらします。

それを心に留めて, これから, 世界の人々のために祈ります。皆さんも同じく心が湧き立ちますように。神の数限りない祝福に心を込めて感謝し, わたしたちの心や家族, ひいては世界全体が癒されるように願い求めてください。

天のお父様, あなた様の地球に住む者として謙遜な思いで祈ります。命とそれを支えるすべてに感謝します。美しい地球と宇宙, 永遠に価値ある万物に感謝します。わたしたちを守り導く律法に感謝します。あなた様の慈悲と愛ある見守りに感謝します。人生を喜びで満たしてくれる家族や愛する人々に感謝します。

パンデミックと闘うあらゆる人々に感謝します。彼らを祝福し, 守りと導きを与えてください。多くを悩ませてきたウイルスの終息に向けて, 助けが得られますように。

国々の指導者や、励ましを与えてくれる人々に感謝します。政治的争いが和らぎますように。相違点があっても一致できるよう、癒しの力をお与えください。

利己心や不親切、高慢、あらゆる偏見を悔い改めて、兄弟姉妹として、感謝する子供たちとして、いっそう仕え合い、助け合えますように。お父様を愛しています。これらの祝福を祈り求め、愛する御子イエス・キリストの御名により祈ります、アーメン。

皆さんに神の祝福がありますように。

注

¹ 1951年3月、ミネソタ州ミネアポリスにて

² 詩篇92：1参照

³ 詩篇136：1参照

⁴ 詩篇95：2参照

⁵ 1テサロニケ5：18参照

⁶ 創世12：3参照

